



地域でさりげない『見守り』を!



高齢化がピークを迎える2025年には、全国で400万人の方(10人に1人の方)が認知症高齢者になると予測されています。高齢者の方の悲惨な事故や孤独死等を防ぐため、下記のポイントを参考にしながら、地域でのさりげない『見守り』をお願いします。

『見守り』のポイント!

認知症・徘徊事故防止の見守り

- ・いつもの散歩コースと違う方向に歩いていく
- ・季節に合わない格好や濡れたままの服装で出かける

独り暮らし・高齢者世帯の見守り

- ・最近、外に出てくるのを見かけない
- ・新聞や郵便物がたまっている
- ・ずっと雨戸が閉まったままになっている
- ・物音ひとつせず、いるのかいないのかわからない

虐待防止・早期発見の見守り

- ・顔などに不自然なアザがある
- ・大きな音がして悲鳴が聞こえた
- ・毎日、同じ衣服ばかり着ている
- ・尿臭がひどい

悪徳商法被害防止の見守り

- ・頻繁に大きなお金を引き出ししている
- ・怪し気な業者やセールスマンが出入りしている

いなべ市では、高齢者の方が住み慣れた地域でいつまでも安心して生活できるよう、地域の関係機関と連携し、日頃から身近なところでさりげない『見守り』が行われるようなネットワークづくりをめざし、①②のような取り組みを始めています。地域の『見守り』体制づくりに向け、みなさんからのご意見等をお待ちしています。

① 「高齢者見守りネットワーク準備会議」開催

平成18年11月8日(水) 13:30~
(場所: いなべ市大安庁舎全員協議室)

警察署、消防署、自治会長会、民生委員会、消防団、老人クラブ、医師会、郵便局、農協、商工会、教育委員会など、地域の関係機関代表の方にお集まりいただき、地域での見守り体制推進のお願いと、ネットワークづくりについて情報交換等を行いました。情報交換の場では、各団体の現在の取り組み状況の報告や、平成19年度システム発足に向けての活発な意見や要望等が寄せられました。

② 「高齢者の地域見守りネットワーク研修会」開催

平成18年11月19日(日) 13:30~
(場所: いなべ市藤原文化センター)

ケアタウン総合研究所(東京都)の高室成幸氏を講師に招き、市内介護サービス事業者、民生児童委員、各種関係機関スタッフなど、高齢者の方の生活に身近な関係者164人の参加者が、地域での見守りネットワークづくりに対する考え方や取り組みのポイント等を学びました。なお、当日実施したアンケート結果では、「一住民としてもっと自分の地域を知るべき」「声かけや傾聴の大事さを再確認した」等の意見が多数寄せられました。



「高齢者の地域見守りネットワーク研修会」の様子

☎ 地域包括支援センター ☎ T 78-3520 ☎ F 78-1114

平成18年度北勢地域広域人権まちづくり事業講演会



『弁護士生活笑百科 ~笑顔で語る人権~』

講師: 三瀬 顕さん(弁護士)

日時: 2月10日(土) 14:00~(開場13:30)

場所: 北勢市民会館さくらホール

※詳しくは
折り込みチラシを
ご覧ください

手話通訳・要約筆記あり
託児あり(要予約)

入場無料

(整理券もありません)

☎ 大安庁舎 人権啓発課 ☎ T 78-3508 ☎ F 78-1114